

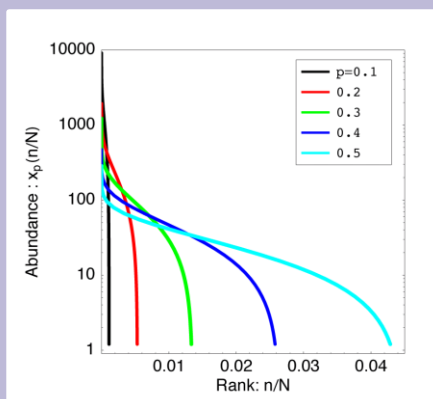
第5回

時田 恵一郎 氏

(名古屋大学大学院情報科学研究科)

生物多様性の科学

熱帯雨林や珊瑚礁などの巨大な生態系の種数や個体数を調べると、環境に依存して特徴的な生物多様性のパターンが見出される。群集生態学者たちは、どのような因子に従って生物多様性とそのパターンが維持されるのかを研究してきた。本講演では、大規模生態群集における生物多様性とその維持機構やパターンの創発に関する理論研究の歴史から始めて、理論物理学やシミュレーション科学の方法による最新の知見、特に種間相互作用ネットワークの構造が群集ダイナミクスに与える影響などの最近の研究結果を紹介する。

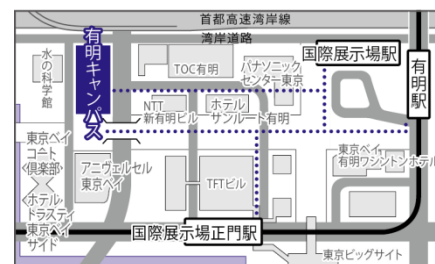


生態系の生産力を表すパラメータ p に依存するランクアブundance関係

2月12日(金) 16:30-18:00

武蔵野大学有明キャンパス, 1号館 3階 306室

事前登録不要・参加無料: どなたでも自由にご参加いただけます。



りんかい線「国際展示場駅」徒歩7分

